

○第3回三河港臨海部防災体制研究会

1月28日、カモメリア（豊橋市）にて「第3回三河港臨海部防災体制研究会」を開催しました。明海地区事業継続計画（BCP）についての研究会も今回で3回目の開催となりました。

自動車部品製造業が多数立地しており、国際自動車港湾三河港を担う明海地区がどのようにBCPを構築していくかを、豊橋技術科学大学、豊橋市、複数の企業が中心となって話し合いが行われました。アンケート調査の実施・解析や企業と行政との連携など、具体的に防災対策の検討が行われました。アンケート調査から明海地区事業所の98%がBCPに関心を示しており、次回開催に向け更なる対策案を検討していきたいと思います。



研究会の様子



○国際自動車コンプレックス研究会総会



総会の様子

三河港は、完成自動車の取り扱いが年間100万台以上ある世界5港湾のうちの一つです。また、三河港周辺60km圏域は、我が国の主要な自動車産業の拠点地域となっており、この地域の輸送機器の製造業の生産額（製造品出荷額等）は、全国の39%にもなります。（※2007年工業統計より三河港周辺60km圏域の市町村の輸送機器製造業の生産額は25兆円で39%を占める）

こうした地域特性から三河港は国内外の自動車産業集積地として更なる成長が期待され、その拠点性と物流の利便性を生かした地域戦略として平成10年に「国際自動車コンプレックス計画」が地元関係者によって策定されました。この計画を民間企業の立場から検討する組織として国際自動車コンプレックス研究会があります。同研究会は自動車関連企業

に加えて、国土交通省、愛知県、東三河地域の自治体が情報・意見交換を行うことで連携を図りつつ、自動車産業に関する諸研究機関との連携による研究活動や防災などに対応した港湾機能維持に関する研究活動などを行っています。

1月27日に国際自動車コンプレックス研究会総会が行われ、昨年度の活動報告や来年度の活動計画などの報告がありました。総会では行政機関や民間企業との連絡を密にしながら、相互の情報・意見交換や連携活動を充実させ、自動車港湾として利便性向上に向けた研究や検討に努めていくことが確認されました。



↓三河港湾事務所ホームページはこちら↓
<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

★ホームページで、Mini-WANバックナンバーをご覧いただけます。★



Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

☆CONTENTS☆

■巻頭コラム

■最近のトピックス

- 第4回海の再生全国会議と三河湾環境再生
- 「中山水道航路 開発保全航路整備事業」の事後評価を実施
- 第2回みなとオアシス会議・中部みなとオアシス物産展in沼津
- 第3回三河港臨海部防災体制研究会
- 国際自動車コンプレックス研究会総会



☆巻頭コラム☆

三河港湾事務所長 平井 洋次

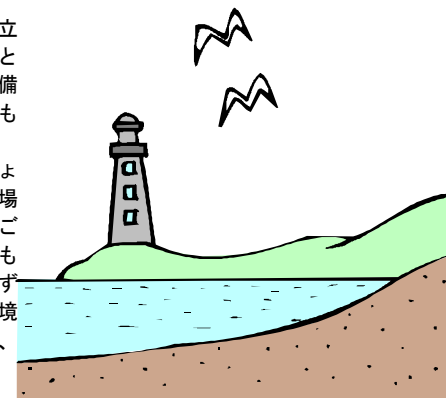


2月に入り、寒さがますます身に染みる今日この頃です。特に、毎日の風が強いために寒く感じているようで、この風が無ければどんなにか過ごし易い事だろうと日々思っています。

風について言えば、港湾の物流という立場からいっても、極力無い方が望ましいと思います。港の静穏度を確保するためには、防波堤を整備して波を抑制したりしますが、風を抑制する方法は無いものなのでしょうか。

先日、豊川市の赤塚山公園に行ってきました。ぎょぎょランドやアニアニまあるという魚や小動物に触れ合える場所があるほか、広場、遊具もあり、半日ほどのんびり過ごすことが出来ました。豊橋市を含め、大きな公園（それも無料）が多いような気がします。そして、駐車場も並ばずに行っても行っても気楽に楽しめる。これは普段の生活環境の中でもセールスポイントだと思います。それにしても、ぽかぽか陽気の中、公園を散歩するのは良いものです。

次はまた他の公園に行ってみようと思います。



「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル



おいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。



みなとの元氣は日本の元氣



国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

E-mail info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの『海とみなとの相談窓口』につながります。

☆最近のトピックス☆



○第4回海の再生全国会議と三河湾環境再生

1月13日、第4回海の再生全国会議（主催：全国海の再生プロジェクト事務局）が広島市にある「広島YMCA国際文化ホール」にて行われました。これは国土交通省、海上保安庁が、閉鎖性海域における水環境の改善を図るため、関係省庁や地方自治体等と連携して、『全国海の再生プロジェクト』を推進していますが、各湾（東京湾、伊勢湾、大阪湾、広島湾）で行われている取り組みについて紹介及び意見交換の場として開催されたものです。

最初に岡田光正教授（広島大学大学院）が「海の再生～その目標のあり方について～」というテーマで基調講演され、「環境改善計画等に掲げる“目標”は、誰もが共通認識できる具体的なものにすること」と提言。その後、広島湾における取り組みの紹介を始めとして、各湾で現在取り組まれている事例の報告が行われました。



岡田光正氏による講演の様子

このように全国的に海の再生の推進が取りまれている中で、当事務所では伊勢湾再生海域検討会三河湾部会を昨年7月に立ち上げ、三河湾において懸念事項とされている「貧酸素水塊」の抑制に向けて各種施策の検討を行っているところです。

次回の部会で優先課題として取りまとめられた「干潟・浅場造成」及び「深掘跡修復」の効果等について数値シミュレーションを用いて検討・評価していく予定です。

次回開催は3月3日。議事概要等は伊勢湾再生海域検討会のホームページで報告いたします。

伊勢湾再生海域検討会HP：<http://www.pa.cbr.mlit.go.jp/isewan/index.html>

○「中山水道航路 開発保全航路整備事業」の事後評価を実施

2月8日、中部地方整備局事業評価監視委員会が開かれ、中山水道航路整備事業の事後評価について審議が行われました。この事後評価は、中山水道航路が整備完了から5年が経過したため、事業効果の発現状況の確認や本事業の今後の改善措置の検討を行うために実施しました。

中山水道周辺は貨物船の航行や多くの漁船が操業する海上交通の要衝でありましたが、浅瀬や暗礁が点在していたために大型船舶の航行が制限されていました。これらの問題を解消するため、平成元年に開発保全航路として中山水道航路が指定され整備事業に着手し、平成16年度に整備完了しております。

委員会においては、本事業による整備効果として、船舶の大型化及び航行時間の短縮による輸送コスト縮減、周辺海域の整流化による航行船舶の安全性向上などが確認できたこと、及び本事業について改善措置等の必要性は無いという対応方針（原案）について説明を行いました。その結果、委員会から当局の対応方針（原案）について了承されました。



中山水道航路事業実施効果について説明を行いました

○第2回みなとオアシス会議・中部みなとオアシス物産展in沼津

1月22日、ザ・グランドティアラ沼津にて「第2回みなとオアシス会議」が開催されました。

みなとオアシスとは、地域の人々と連携した取り組みによりみなと周辺の施設やスペースを活用して、みなとを核としたまちづくりの促進を目指すものです。中部地方整備局管内では、「みなとオアシスがまごおり（平成19年4月登録）」、「みなとオアシス津なぎさまち（平成20年8月登録）」、今回の会議が開催されました「みなとオアシス沼津（平成19年11月登録）」の3箇所が登録されています。

この会議は、開催地である沼津市の栗原市長、主催者代表として中部地方整備局 春日井港湾空港部長の両氏が挨拶をされ開会しました。その後、国土交通省港湾局 田邊振興課長よりみなとオアシスの制度や小名浜、七尾、大分等全国での取り組み事例の紹介がありました。次に3箇所の各みなとオアシスから、取り組み事例の紹介がありました。それぞれの地域、それぞれの特産品、施設等に合った、さまざまな取り組みが紹介されました。

100人ほどが出席した会議でしたが、出席者全員が今後のみなとオアシスが更に発展することを期待して閉会しました。



みなとオアシス会議の様子



沼津港大型展望水門“びゅうお”

翌日、23日には「中部みなとオアシス物産展 in 沼津」が沼津みなと新鮮館イベントスペースで開催されました。ここでは中部地方整備局管内の3箇所のみなとオアシスそれぞれの地区を紹介するパンフレットも配られ、また各地区の地元の特産品も販売されました。三河港湾事務所管内のみなとオアシスがまごおりからは、三河木綿で作られた巾着や帽子などが販売され、蒲郡地区の古くから伝わる三河木綿の歴史と併せて紹介がされていました。

またイベントスペースでは、地元のシンガー飯田徳孝さんが、イベント会場であるみなとオアシス沼津のみなと新鮮館を歌った「沼津みなと新鮮館」を歌ったり、大道芸などが行われ、いらした方々を楽しませてくれました。



イベントを楽しむ皆さん



大道芸人と一緒に記念撮影です！